

民間研究所めぐり

日産化学工業株式会社生物化学研究所

所在地：埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡 1,470 番地
電 話：04809-2-2513

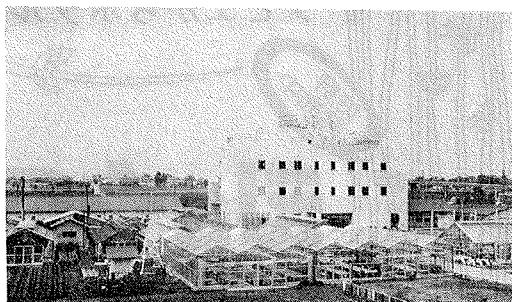
この研究所は、東北本線で上野から45分、白岡駅で下車、10分も歩くと、緑の圃場と温室群を前景にして、真新しい白壁の4階建研究本館が目飛びこんでくる。

所内に足を運ぶと、その歴史を物語るような木造の農場施設も残り、本館裏手の水田圃場には、設立当初よばれていた「日産化学白岡農事試験場」の看板が立てられ、何ともなつかしい心なごむ風景も点在している。周辺の都市化は進んでいるが、未だ関東平野の農業地域の景観は残っており、北は稲田の向うに日光連山、東に筑波山、南西には秩父丹沢山系越しに、晴れた日には富士山をも眺められる。いかにも、農業関係研究施設にふさわしい環境である。

この研究所は、昭和6年に設立され、肥料・農薬の試験機関としては業界では先駆のもので、とりわけ、所内に沖積層と洪積層の両土壌の畑と水田圃場をもっていることは、当初のねらいが依然として生かされている所以であろう。



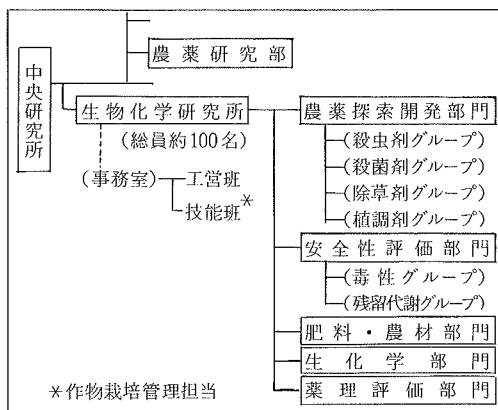
温室における除草剤スクリーニング



日産化学工業(株)生物化学研究所全景

総敷地面積 24,000 m²、温室 1,700 m²・グロスキャビネット 15基・場外圃場 10ha.

農薬研究では、新規農薬探索のため、合成と製剤の物理化学的研究は中央研究所農薬研究部が担当し、生物活性評価は白岡で行ない、密度の高い討議を重ねながら展開させているとのこと。開発研究は、圃場試験を含めて活発に実施しており、除草剤の場合、2,4-D 以来すぐれた実績を重ねてきた開発力は定評がある。とくに感じたことは、生物活性評価試験の基礎になる供試材料の管理が卓越していることである。これは、作物・雑草・虫・菌などすべてにわたり、温室・圃場の整然とした管理とあわせ、自信のほどが伺われた点と、安全性評価のため、最近、新研究棟が増築され、GLP 対応を含め、毒性・残留代謝研究に力をそそぎ、充実をはかっている点であり、今後の発展を期待する。



機能・組織図